

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月9日

デクセリアルズ 株式会社

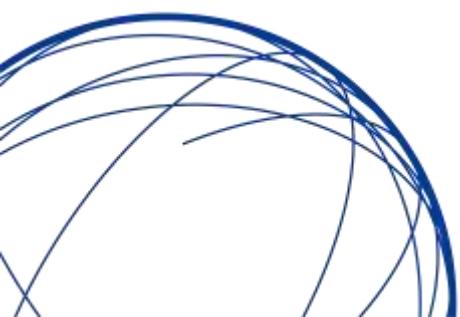


FY25.3Q累計 決算概要

FY25 業績見通し

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。



決算ハイライト

FY25.3Q
累計実績

売上高：872億円、事業利益：314億円 前年同期比增收減益（為替レート：148.7円/米ドル）

➤ **売上高**

前年上期は蛍光体フィルムの売上に加え、自動車向け反射防止フィルム（ARF）の新規納入積み上げの影響があったが、光半導体や形状加工異方性導電膜（ACF）などの高付加価値製品の販売拡大により、為替影響を除いても増収

➤ **事業利益**

売上高同様のマイナス影響および光半導体向けを中心とした成長投資による固定費の増加を高付加価値製品の拡大でカバーし、為替影響を除くと増益

FY25 見通し
&
株主還元

売上高：1,140億円、事業利益：390億円（為替レート：145.8円/米ドル）

➤ **年間の業績見通し、4Q想定レートに変更なし**

メモリ価格高騰によるモバイルIT製品への影響および中国自動車市場の競争激化の影響を見込むものの、
11月開示の修正計画の達成を目指す

➤ **現金配当：中間29円/株、期末29円/株、年間58円/株を予定（変更なし）**

➤ **11月から12月にかけて50億円の自己株式を取得。1月に取得した全株式の消却を完了**

決算概要

FY25.3Q累計 (2025.4.1~2025.12.31)



FY25.3Q累計 主要最終製品の市場・当社動向（前年同期比）

最終製品	市場動向	当社動向	
タブレット			<ul style="list-style-type: none">・ 市場：前期並み・ 当社：市場動向同様に前期並み
ノートPC			<ul style="list-style-type: none">・ 市場：買い替え需要が継続・ 当社：蛍光体フィルムの販売終息影響とハイエンド向け反射防止フィルム（ARF）の引き渡し時期の一部後ろ倒しによりマイナス
スマートフォン			<ul style="list-style-type: none">・ 市場：前期並み・ 当社：ハイエンド向けカメラモジュール関連製品の高付加価値品への置換によりプラス
自動車			<ul style="list-style-type: none">・ 市場：前期並み・ 当社：前年上期は反射防止フィルム（ARF）の新規納入の積み上げがあり、反動減の影響によりマイナス
光半導体 (光トランシーバー)			<ul style="list-style-type: none">・ 市場：データセンター向け需要の拡大が継続・ 当社：前期に納入を開始した大手顧客向け高速応答フォトダイオードの販売拡大によりプラス

FY25.3Q累計 連結業績サマリー

(単位：百万円)	24.3Q	25.3Q	前年同期比 増減	為替変動の影響除く
売上高	87,163	87,296	+0.2%	+2.0%
事業利益	31,865	31,471	-1.2%	+3.5%
営業利益	32,848	30,451	-7.3%	
税引前利益	32,487	30,559	-5.9%	
四半期利益	23,356	21,267	-8.9%	
1株当たり四半期利益	135.97円	126.23円	-7.2%	
EBITDA	36,795	36,978	+0.5%	+4.6%
EBITDAマージン	42.2%	42.4%	+0.1%Pt	+1.1%Pt

(注) 四半期利益は親会社の所有者に帰属する四半期利益に読み替え

1株当たり四半期利益は基本的 1株当たり四半期利益に読み替え

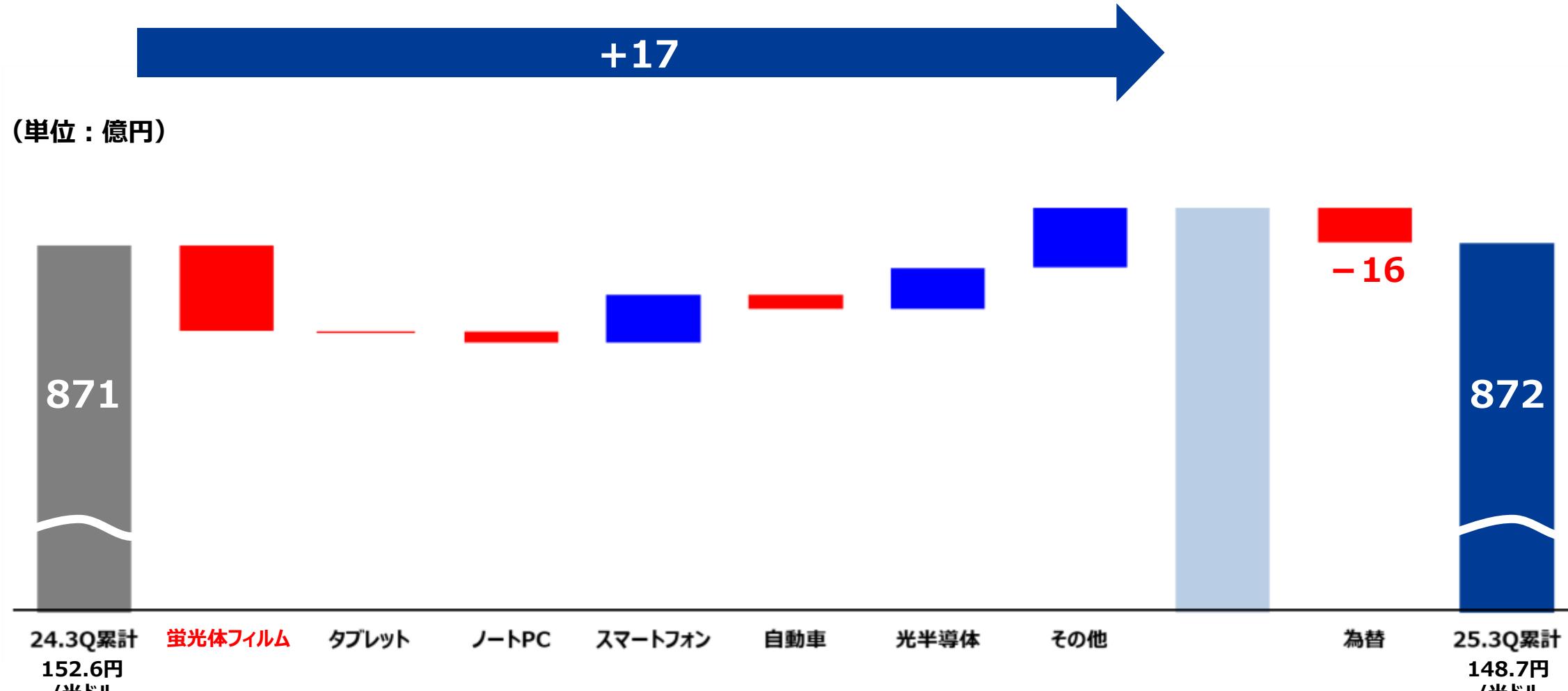
1株当たり四半期利益：当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、

上記1株当たり四半期利益はFY24期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています

EBITDA = 事業利益 + 売上原価ならびに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費

FY25.3Q累計 アプリケーション別売上高増減（前年同期比）

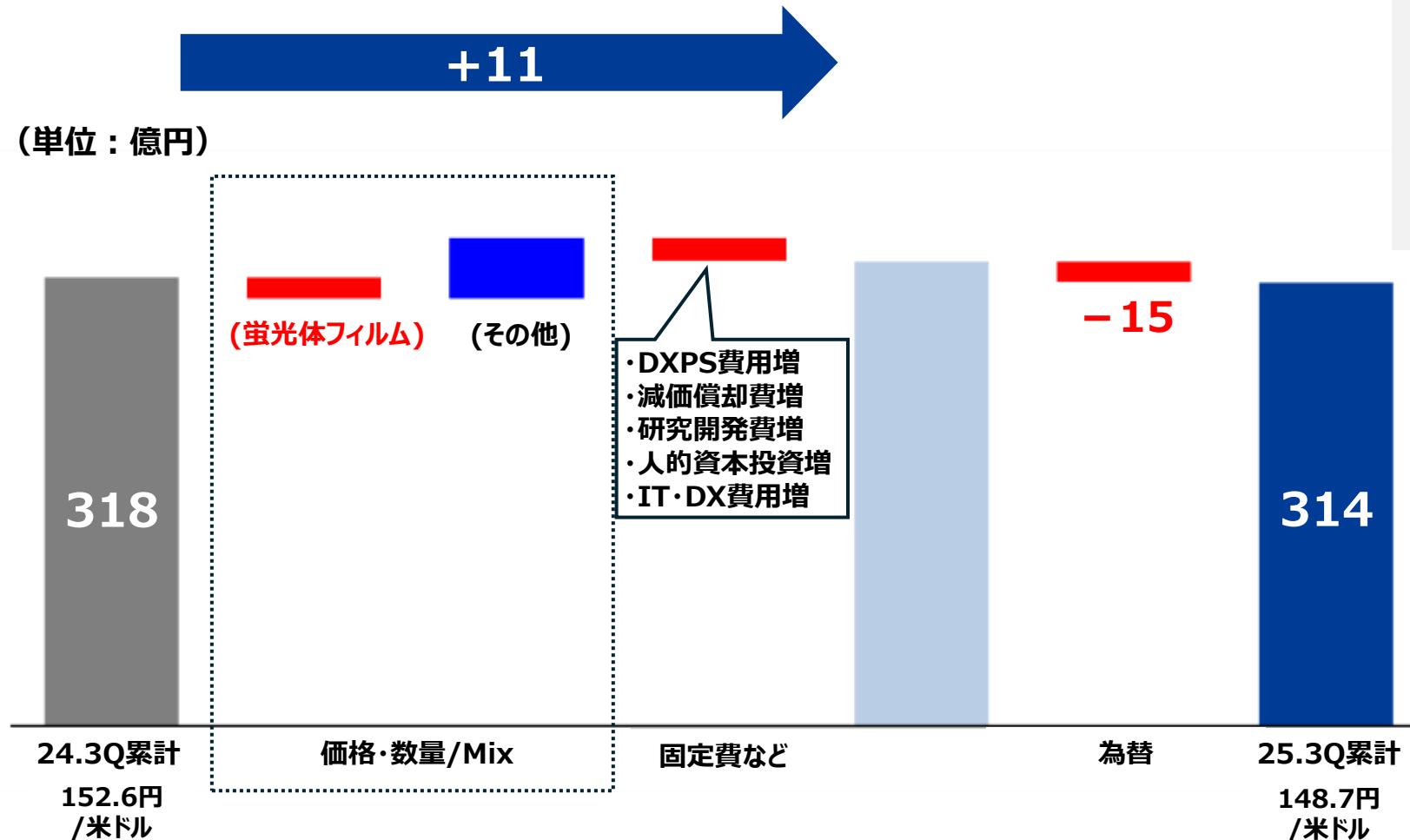
蛍光体フィルムの販売終息影響などを、光半導体やカメラモジュール向け形状加工異方性導電膜（ACF）などによりカバー



(注) 一部推定を含む
ノートPCはデスクトップモニターを含む

FY25.3Q累計 事業利益要因分析（前年同期比）

蛍光体フィルムの販売終息影響および光半導体を中心とした固定費の増加を、
高付加価値製品の拡大でカバーし、為替影響を除くと増益



(注) DXPSはフォトニクス領域を手掛ける当社連結子会社であるデクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ株式会社の略称です

セグメント別概況

FY25.3Q累計 光学材料部品セグメント（前年同期比）

	前年同期比			
	24.3Q	25.3Q	増減	為替変動の影響除く
売上高	41,696	37,672	-9.7%	-8.3%
事業利益	13,636	12,002	-12.0%	-8.2%
EBITDA	16,194	14,581	-10.0%	-6.8%

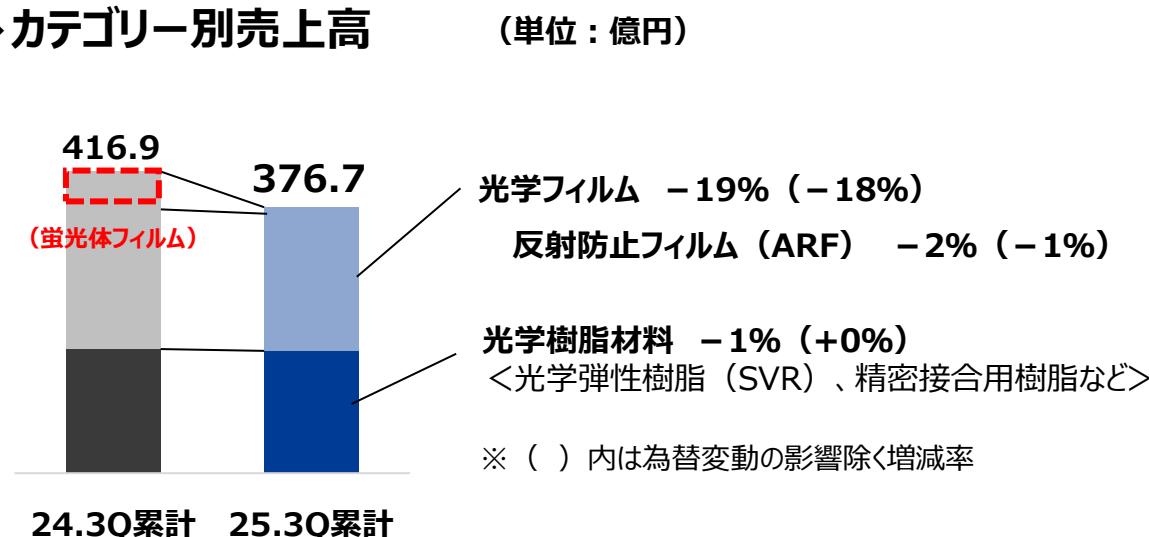
〈主な売上高増減要因（為替影響除く）〉

- 反射防止フィルム（ARF）：前年上期での自動車向け新規納入積み上げによる反動減の影響などにより減収
- 萤光体フィルム：前年上期末での販売終息の影響
- 光学樹脂材料：光学弹性樹脂（SVR）の一部採用モデルの数量減があったが、精密接合用樹脂の採用モデルの数量増により横ばい

(注) 光学材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

(単位：百万円)

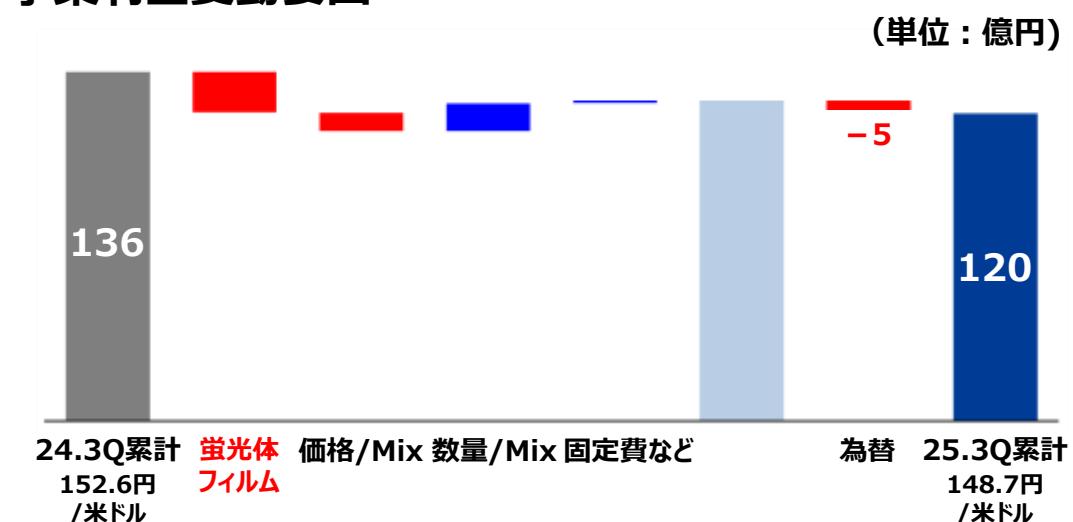
◆ カテゴリー別売上高



(単位：億円)

24.3Q累計 25.3Q累計

◆ 事業利益変動要因



セグメント別概況

FY25.3Q累計 電子材料部品セグメント（前年同期比）

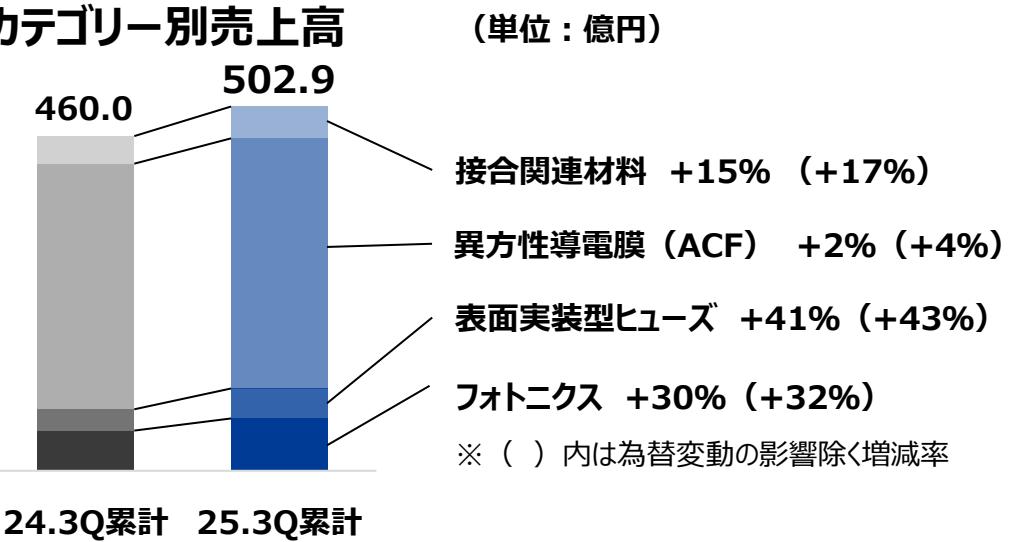
	(単位：百万円)			
	24.3Q	25.3Q	前年同期比 増減	為替変動の 影響除く
売上高	46,000	50,292	+9.3%	+11.7%
事業利益	18,228	19,468	+6.8%	+12.2%
EBITDA	20,601	22,397	+8.7%	+13.5%

〈主な売上高増減要因（為替影響除く）〉

- 異方性導電膜（ACF）：カメラモジュール向けの形状加工ACFが好調に推移したことにより増収
- 表面実装型ヒューズ：電動工具向け製品の主要顧客の在庫調整が前期で終了したことと伴う生産回復に加え、データセンター向けBBUの売上の継続により増収
- フォトニクス：データセンター向け光トランシーバー用製品と通信機器向け製品の出荷数量の拡大などにより増収

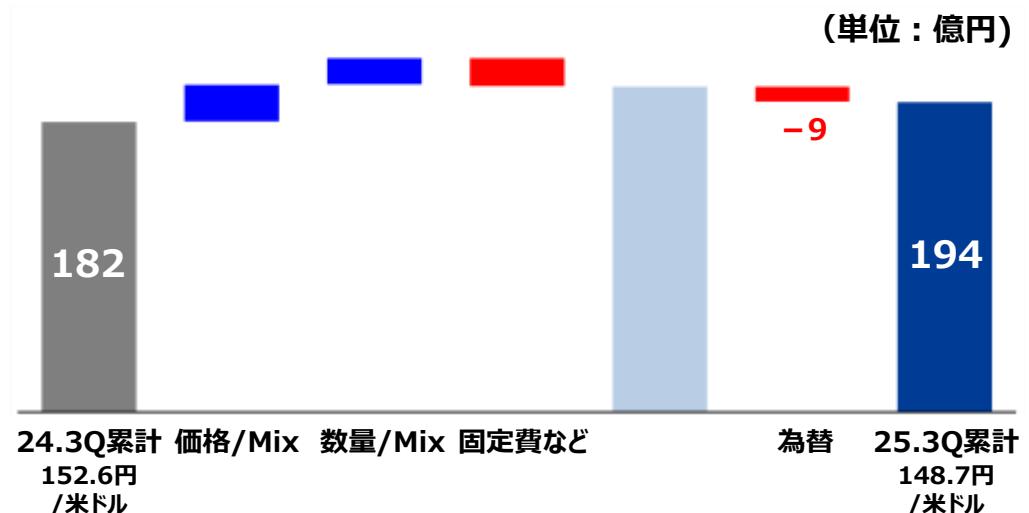
(注) 電子材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む
BBU：バッテリー・バックアップ・ユニット

◆ カテゴリー別売上高



(単位：億円)

◆ 事業利益変動要因



業績見通し

FY25 (2025.4.1～2026.3.31)



FY25 連結業績見通し：変更なし

メモリ価格高騰によるモバイルIT製品への影響および中国自動車市場の競争激化の影響を見込むものの、
11月開示の修正計画の達成を目指す

(単位：百万円)	FY24	FY25見通し		前期比 増減	為替変動の影響除く
	152.6円/米ドル	期初見通し 135.0円/米ドル	145.8円/米ドル		
売上高	110,390	103,500	114,000	+3.3%	+6.7%
事業利益	38,068	29,000	39,000	+2.4%	+11.6%
営業利益	39,735	28,000	39,000	-1.9%	
税引前利益	39,359	28,300	38,500	-2.2%	
当期利益	27,737	20,500	26,000	-6.3%	
 1株当たり当期利益	162.04円	120.25円	153.69円	-5.2%	
1株当たり配当額	58.0円	58.0円	58.0円	0.0%	
配当性向	35.8%	48.2%	37.7%		株式給付信託（BBT-RS）追加拠出分1,000百万円を含む 中計期間累計で総還元性向60%をめどに実施
DOE	10.9%	9.7%	9.7%		
自己株式取得総額	9,999	1,000	6,000		
総還元性向	73.2%	-	58.2%		
 EBITDA	44,708	36,900	46,700	+4.5%	
ROIC	22.9%	14.4%	22.1%	-0.9%Pt	
ROE	30.6%	20.3%	25.8%	-4.8%Pt	

(注) 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益に読み替え

1株当たり当期利益は基本的1株当たり当期利益に読み替え

1株当たり当期利益：当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、上記1株当たり当期利益はFY24期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています

1株当たり配当額：当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、上記1株当たり配当額はFY24期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています

総還元性向 = (年間配当金総額 + インセンティブ目的の取得を除く自己株式取得総額) ÷ 当期利益 × 100

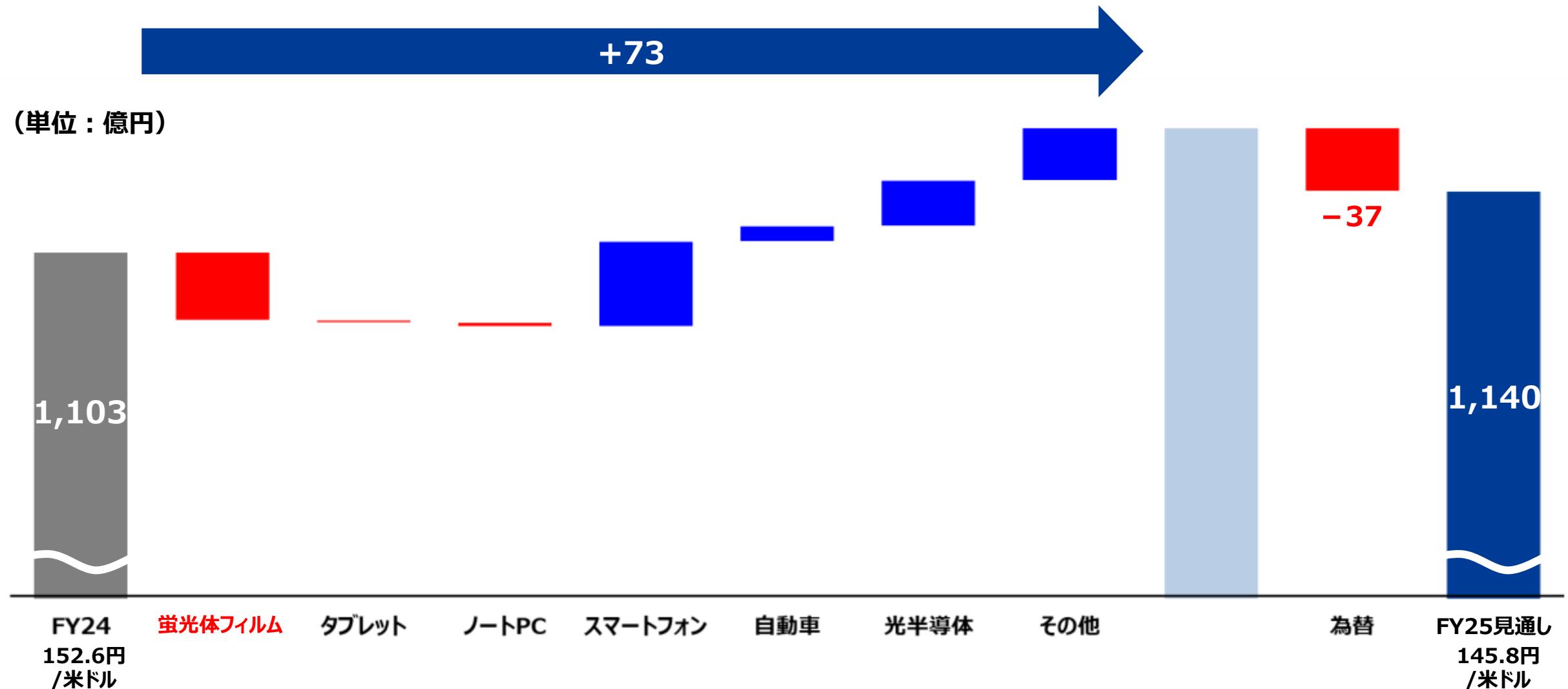
EBITDA = 事業利益+売上原価ならびに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費

FY25 業績見通し セグメント別内訳：変更なし

(単位：百万円)	FY24 152.6円/米ドル	期初見通し 135.0円/米ドル	FY25見通し 145.8円/米ドル	前期比増減
光学材料部品セグメント				
売上高	50,647	45,500	49,300	-2.7%
事業利益	14,556	10,000	14,700	+1.0%
事業利益率	28.7%	22.0%	29.8%	+1.1%Pt
EBITDA	18,006	13,900	18,500	+2.7%
電子材料部品セグメント				
売上高	60,434	59,000	65,600	+8.5%
事業利益	23,511	19,000	24,300	+3.4%
事業利益率	38.9%	32.2%	37.0%	-1.9%Pt
EBITDA	26,701	23,000	28,200	+5.6%
連結合計				
売上高	110,390	103,500	114,000	+3.3%
事業利益	38,068	29,000	39,000	+2.4%
事業利益率	34.5%	28.0%	34.2%	-0.3%Pt
EBITDA	44,708	36,900	46,700	+4.5%

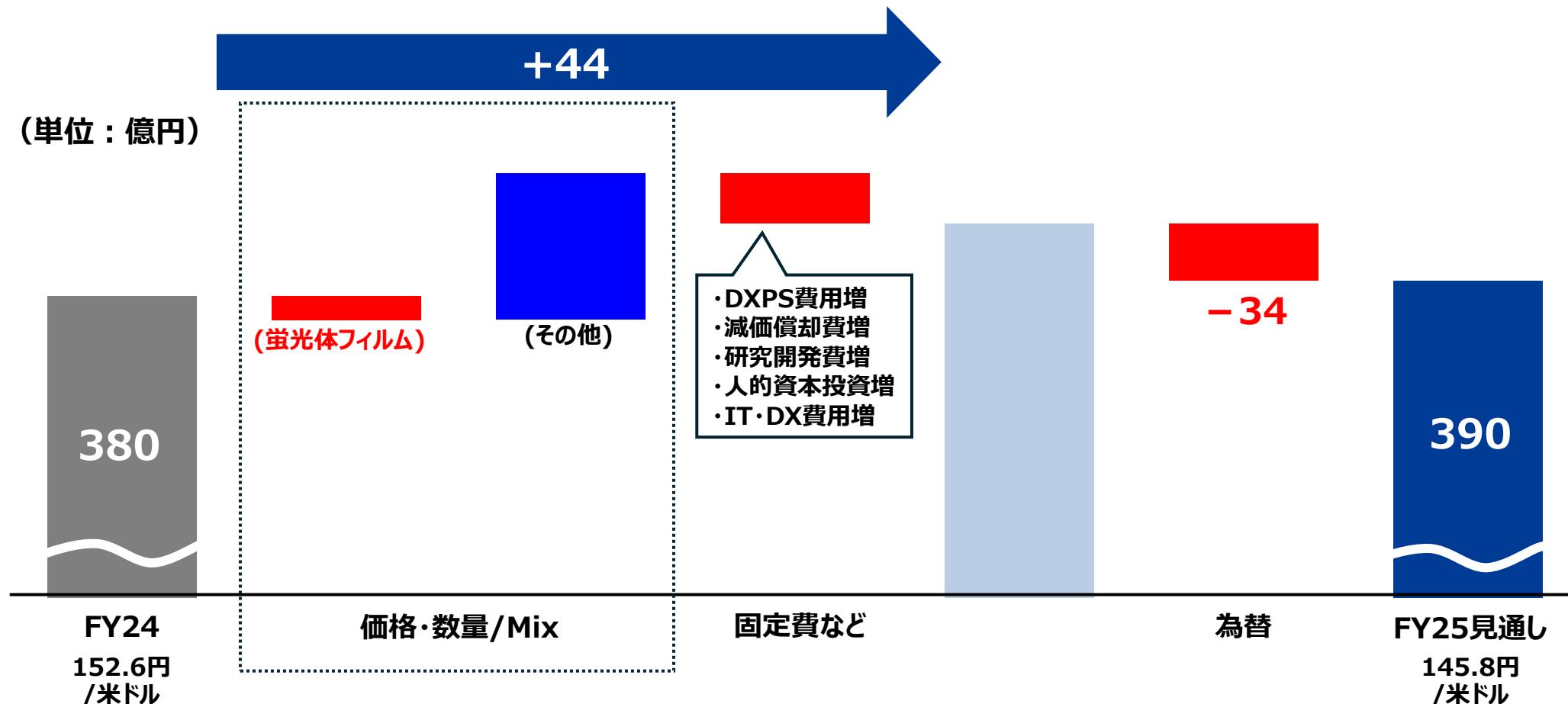
(注) 売上高にはセグメント間取引を含む

FY25 アプリケーション別売上高増減（前期比）



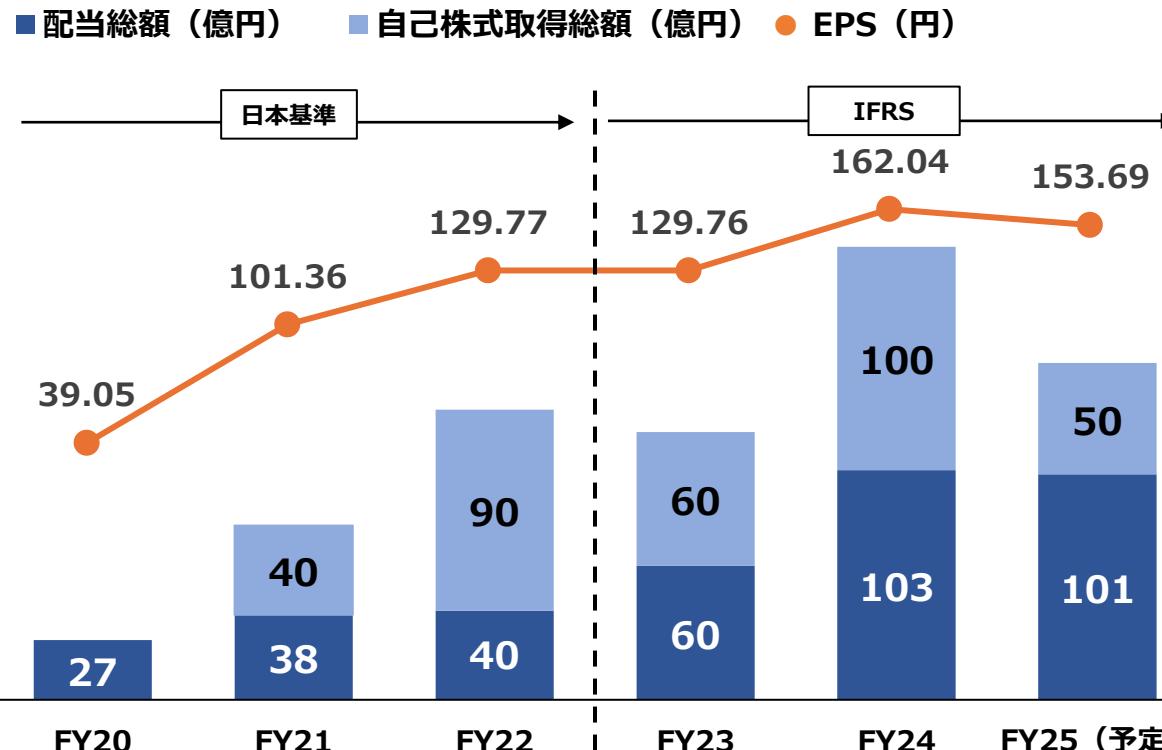
(注) 一部推定を含む
ノートPCはデスクトップモニターを含む

FY25 事業利益要因分析（前期比）



(注) DXPSはフォトニクス領域を手掛ける当社連結子会社であるデクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ株式会社の略称です

株主還元



	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25（予定）
EPS	39.05円	101.36円	129.77円	129.76円	162.04円	153.69円
年間配当金	14.7円	20.0円	21.7円	33.3円	58.0円	58.0円
配当性向	50.3%	21.8%	18.5%	25.7%	35.8%	37.7%
DOE	5.2%	6.2%	5.6%	7.5%	10.9%	9.7%
総還元性向	42.2%	42.3%	56.6%	53.3%	73.2%	58.2%

(注) EPSの計算における当期利益は親会社株主に帰属する当期純利益（FY20-FY22）および親会社の所有者に帰属する当期利益（FY23-FY25（予定））を使用
EPSはFY22まではのれん償却前EPSを使用
EPSおよび年間配当金はFY20の期首に株式分割がおこなわれたと仮定して算出

◆ 中期経営計画還元方針

総還元性向60%目途（5年間累計）

連結配当性向40%目途

DOE7%を下限（安定配当を念頭）

◆ 自己株式の取得＆消却

中期経営計画の還元方針を踏まえ実施

取得株数：1,677,100 株

取得総額：4,999,775,887 円

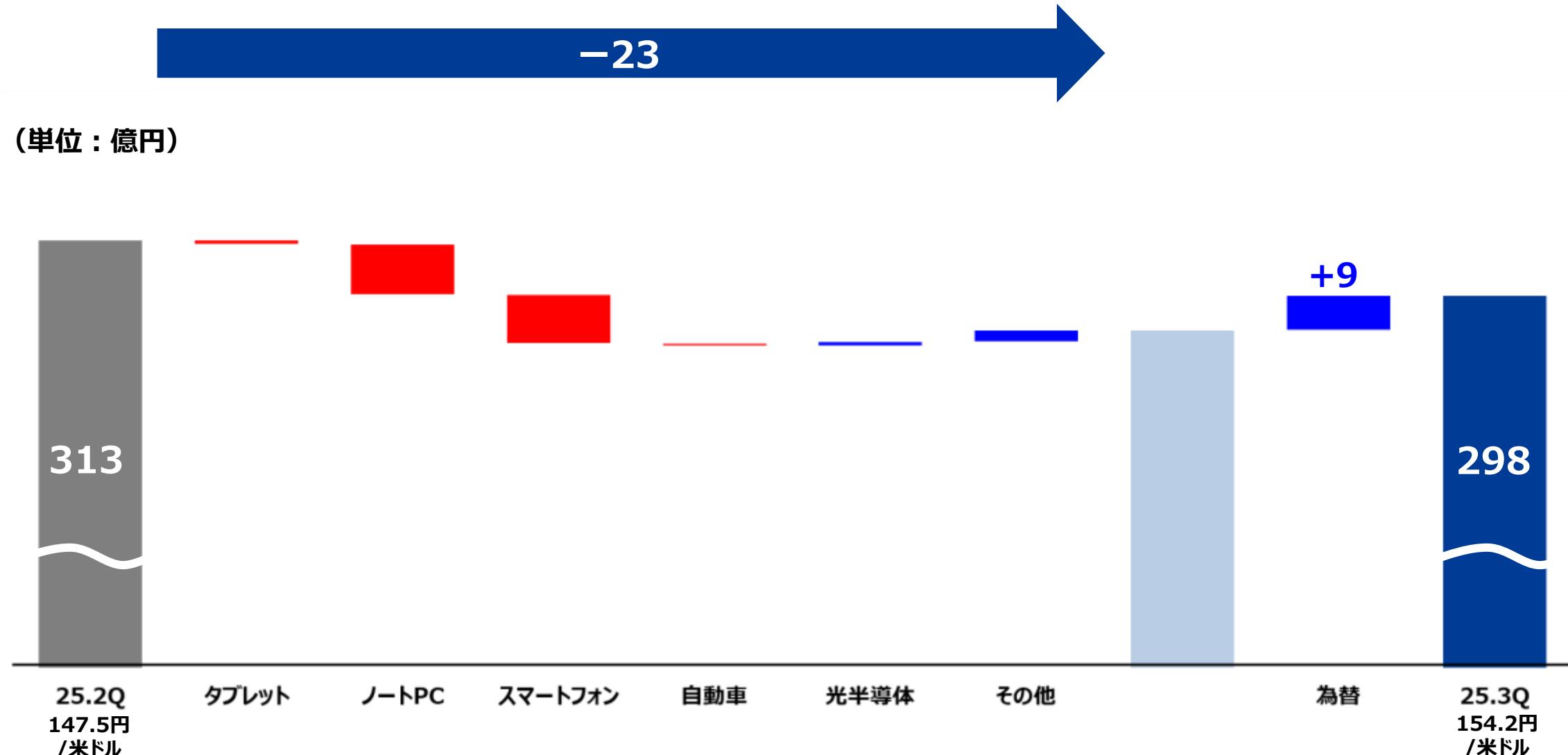
取得期間：2025年11月13日～12月19日

取得した全株式を2026年1月16日に消却完了

Appendix



FY25.3Q アプリケーション別売上高増減（前四半期比）

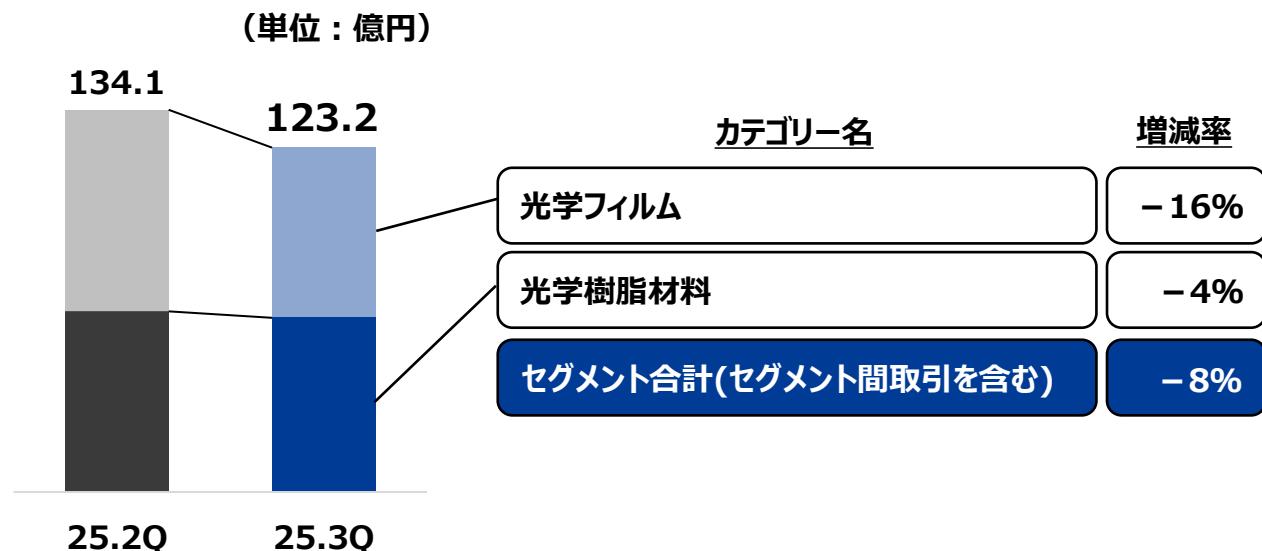


(注) 一部推定を含む
ノートPCはデスクトップモニターを含む

FY25.3Q セグメント別概況（前四半期比）

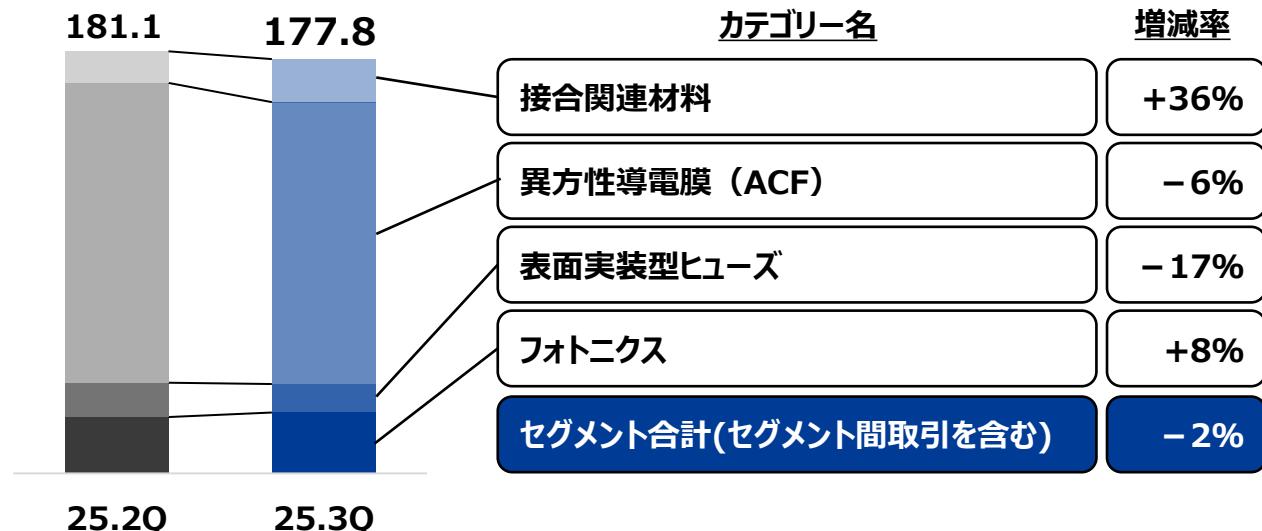
◆光学材料部品セグメント カテゴリー別売上高

	25.2Q	25.3Q	増減率
売上高	13,417	12,321	-8.2%
事業利益	4,718	3,954	-16.2%
EBITDA	5,564	4,855	-12.7%



◆電子材料部品セグメント カテゴリー別売上高

	25.2Q	25.3Q	増減率
売上高	18,119	17,782	-1.9%
事業利益	7,534	7,363	-2.3%
EBITDA	8,492	8,399	-1.1%



2025年12月末 連結財政状態

(単位：百万円)

	2025年3月末	2025年12月末	増減額
現金及び現金同等物	34,979	14,649	-20,330
流動資産	63,559	49,303	-14,255
有形固定資産	49,703	68,259	+18,555
非流動資産	88,262	106,242	+17,980
資産合計	151,821	155,545	+3,724
有利子負債	21,078	16,850	-4,227
負債合計	55,905	53,592	-2,313
資本合計	95,915	101,953	+6,037
負債及び資本合計	151,821	155,545	+3,724

ネットキャッシュ残高	13,901	-2,200	-16,102
親会社所有者帰属持分比率	63.2%	65.5%	+2.4%pt
ネットD/Eレシオ	-0.14	0.02	+0.17

FY25.3Q累計 連結CFサマリー

(単位：百万円)

	24.3Q	25.3Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	31,744	17,921	-13,822
投資活動による キャッシュ・フロー	-7,753	-18,060	-10,306
フリー・ キャッシュ・フロー	23,990	-138	-24,129
財務活動による キャッシュ・フロー	-15,979	-20,693	-4,714
現金期末残高	46,684	14,649	-32,034

(注) キャッシュ・フロー情報は投資家の皆様の利便性のために簡易的に作成した参考情報であり、実際の数値と異なることがあることをご了承ください

FY25.3Q累計 地域別売上高

(単位：百万円)

	24.3Q 構成比	24,901	25.3Q 構成比	44,977	増減額 +20,076
日本	28.6%	24,901	51.5%	44,977	+20,076
中国	26.3%	22,955	23.8%	20,767	-2,187
韓国	15.0%	13,079	6.2%	5,388	-7,690
台湾	17.1%	14,934	11.1%	9,680	-5,253
その他	13.0%	11,293	7.4%	6,482	-4,811
海外	71.4%	62,261	48.5%	42,318	-19,943
合計	100.0%	87,163	100.0%	87,296	+133

(注) 日本につきましては、最終仕向地が海外となる、日本に所在する顧客への売上高が含まれております

2025年12月末 自己株式の保有状況

項目	発行済株式数に 占める割合	株式数
発行済株式数	100.0%	176,418,500株
普通株式（自己株式除く）	94.9%	167,507,741株
自己株式	5.1%	8,910,759株
インセンティブ目的以外で保有する自己株式数	1.0%	1,677,100株
インセンティブ目的として保有する自己株式数	4.1%	7,232,456株
株式給付信託（J-ESOP）	3.4%	5,972,100株
株式給付信託（BBT-RS）	0.2%	407,264株
譲渡制限付株式	0.5%	853,092株
その他	0.0%	1,203株

四半期データ

(単位：百万円)

	日本基準		FY23	IFRS								FY25 見通し
	FY21	FY22		1Q	2Q	3Q	4Q	FY24	1Q	2Q	3Q	
売上高	95,712	106,167	105,198	27,176	32,458	27,528	23,226	110,390	26,140	31,315	29,839	114,000
事業利益	26,642	32,288	34,086	9,595	12,724	9,545	6,202	38,068	7,899	12,253	11,317	39,000
事業利益率	27.8%	30.4%	32.4%	35.3%	39.2%	34.7%	26.7%	34.5%	30.2%	39.1%	37.9%	34.2%
当期利益	16,669	20,685	22,575	6,689	9,167	7,499	4,381	27,737	5,565	7,845	7,856	26,000
1株当たり当期利益	91.54円	129.77円	129.76円	—	—	—	—	162.04円	—	—	—	152.51円
1株当たり配当額	20.0円	21.7円	33.3円	—	—	—	—	58.0円	—	—	—	58.0円
自己株式取得総額	3,999	8,999	5,999	—	—	—	—	9,999	—	—	—	6,000
総還元性向	42.3%	56.6%	53.3%	—	—	—	—	73.2%	—	—	—	58.2%
経営指標												
EBITDA	32,478	39,101	39,386	11,204	14,360	11,231	7,912	44,708	9,667	14,056	36,978	46,700
ROIC	22.5%	24.4%	22.9%	—	—	—	—	22.9%	—	—	—	22.1%
ROE	28.5%	30.3%	29.5%	—	—	—	—	30.6%	—	—	—	25.8%
建物の引き渡し時期が後ろ倒しになることに伴い、2Q決算時に修正前渡金を含めると37,600百万円の見通しであり、計画通り投資は進捗												
設備投資額	5,250	13,926	7,482	1,321	2,261	1,024	3,379	9,190	2,427	2,335	4,515	16,600
減価償却費	4,207	4,615	5,300	1,608	1,635	1,685	1,710	6,640	1,767	1,802	1,936	7,700
研究開発費	3,876	4,274	4,706	1,208	1,317	1,250	1,553	5,330	1,467	1,679	1,596	7,000
為替レート（円/米ドル）	112.4	135.5	144.6	155.9	149.4	152.4	152.6	152.6	144.6	147.5	154.2	145.8

(注) 当期利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY21,FY22) および親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY23, FY24, FY25見通し) に読み替え

FY21およびFY22は日本基準につき事業利益・事業利益率に替えて、営業利益・営業利益率を記載しています

IFRSの設備投資額はリース契約にかかる固定資産を除いています

FY25見通しの自己株式取得総額は株式給付信託（BBT-RS）の追加拠出分を含めています

総還元性向の算出にはインセンティブ目的で取得する自己株式数を含めていません

四半期データ（セグメント別）

(単位：百万円)

	日本基準		FY23	IFRS								FY25 見通し
	FY21	FY22		1Q	2Q	3Q	4Q	FY24	1Q	2Q	3Q	
光学材料部品セグメント												
売上高	49,159	55,384	51,453	12,573	16,624	12,499	8,951	50,647	11,933	13,417	12,321	49,300
事業利益	13,127	17,969	15,256	3,641	6,342	3,652	919	14,556	3,329	4,718	3,954	14,700
事業利益率	26.7%	32.4%	29.7%	29.0%	38.2%	29.2%	10.3%	28.7%	27.9%	35.2%	32.1%	29.8%
EBITDA	15,428	20,142	17,584	4,490	7,176	4,527	1,812	18,006	4,161	5,564	4,855	18,500
電子材料部品セグメント												
売上高	47,195	51,495	54,387	14,765	16,019	15,214	14,434	60,434	14,390	18,119	17,782	65,600
事業利益	15,304	16,106	18,830	5,953	6,381	5,893	5,282	23,511	4,570	7,534	7,363	24,300
事業利益率	32.4%	31.3%	34.6%	40.3%	39.8%	38.7%	36.6%	38.9%	31.8%	41.6%	41.4%	37.0%
EBITDA	17,049	18,958	21,802	6,715	7,183	6,703	6,099	26,701	5,505	8,492	8,399	28,200
連結合計												
売上高	95,712	106,167	105,198	27,176	32,458	27,528	23,226	110,390	26,140	31,315	29,839	114,000
事業利益	26,642	32,288	34,086	9,595	12,724	9,545	6,202	38,068	7,899	12,253	11,317	39,000
事業利益率	27.8%	30.4%	32.4%	35.3%	39.2%	34.7%	26.7%	34.5%	30.2%	39.1%	37.9%	34.2%
EBITDA	32,478	39,101	39,386	11,204	14,360	11,231	7,912	44,708	9,667	14,057	13,254	46,700

(注) 売上高にはセグメント間取引を含みます

FY21およびFY22は日本基準につき事業利益・事業利益率に替えて、営業利益・営業利益率を記載しています

ESG 外部評価・その他

「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index*」

2025年6月

構成銘柄に連続選定

英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数



「MSCI**日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」

「MSCI**日本株女性活躍指数（WIN）」

2025年6月

構成銘柄に連続選定

2025年6月

構成銘柄に連続選定

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数(WIN)

「JPXプライム150指数」

2025年8月

構成銘柄に2年連続で選定

価値創造が推定される我が国を代表する企業で構成される指数



GPIF「優れた統合報告書」

2025年3月

GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に
『デクセリアルズ統合レポート2024』が初選出（78社/約1,200社）

「JPX日経インデックス400」

2025年10月

構成銘柄に4年連続で選定



株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

2025年6月

構成銘柄に連続選定

SOMPOアセットマネジメント株式会社が
独自に設定するアクティブ・インデックス



Sompo Sustainability Index

「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」

2025年11月

「従業員への健康配慮に関する取り組みが特に優れている」
という最高ランクの格付を初取得



「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」

2025年3月

5年連続で認定



日興アイ・アール 全上場企業ホームページ充実度ランキング 最優秀サイト
大和インターネット I R 表彰2025 優良賞
Gomez IRサイトランキング 2025 銅賞



* 登録商標 FTSE Russellについて：FTSE Russell（FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標）は、ここにデクセリアルズ株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となつたことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます

**デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません

MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです

Our Purpose & Sustainability

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。

デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

Materiality

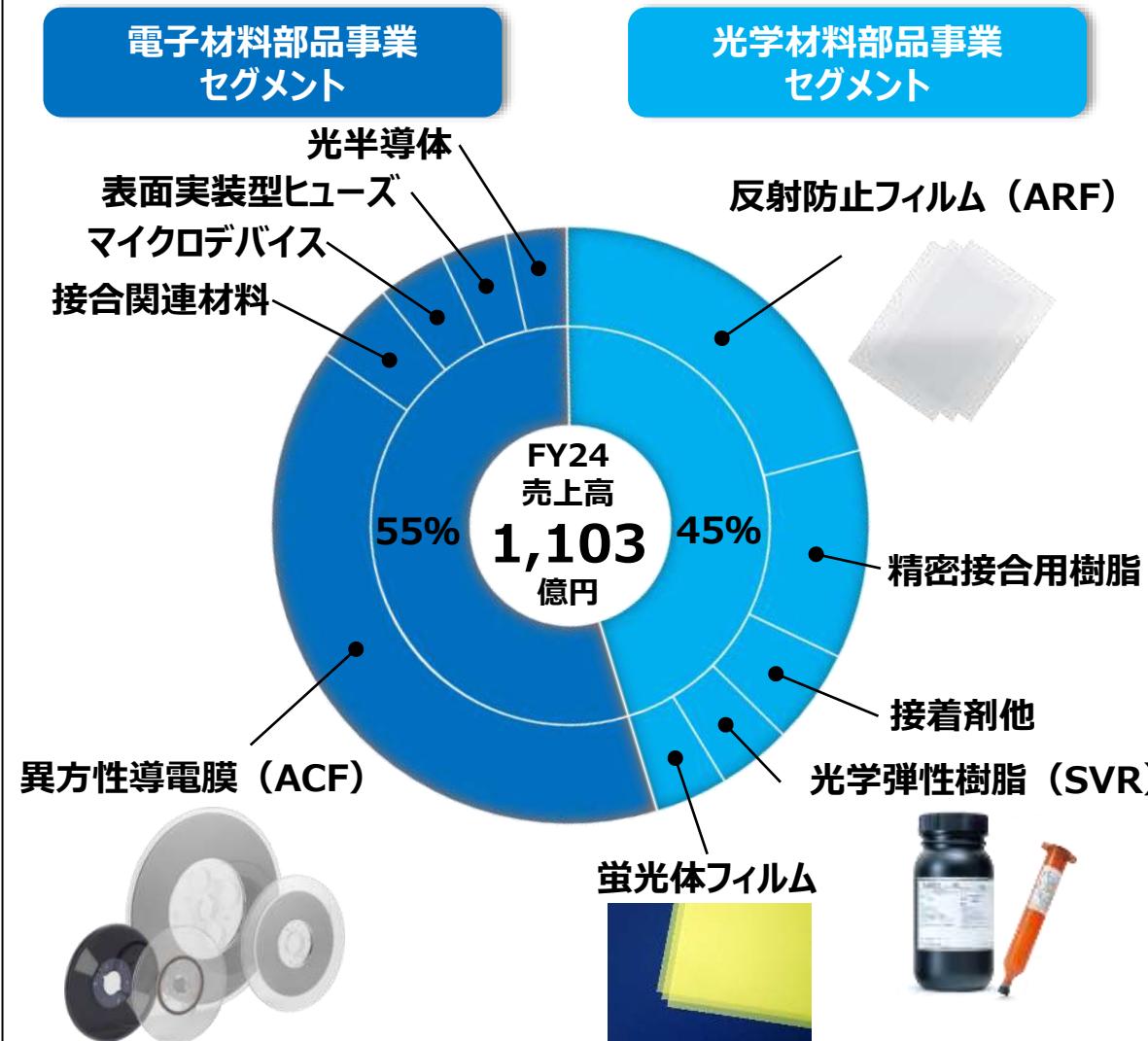
「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

売上高構成

■ カテゴリー別売上高 (FY24)



■ アプリケーション別売上高 (FY24)



当社製品×最終製品

反射防止フィルム (ARF)



ノートPCディスプレイなどの光学機器の表面で発生する光の反射を抑制することで視認性の悪化を防止するための光学フィルムです

光学弹性樹脂 (SVR)



スマートフォン・タブレット・ノートPCなどのディスプレイ内部にあるエアギャップを埋め、光の屈折・反射を抑える紫外線硬化型の弾性樹脂です

精密接合用樹脂



カメラモジュール



光ピックアップ

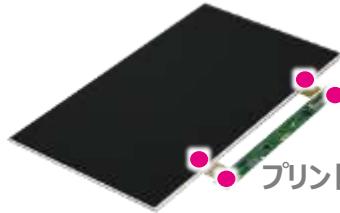
紫外線、熱、紫外線+熱で硬化する接合用樹脂です。低温短時間での硬化と低収縮を実現する、スマートフォンなどのカメラやセンサーのモジュールの精密接合に最適な接着剤です

当社製品×最終製品

異方性導電膜（ACF）



● 異方性導電膜（ACF）



大型ディスプレイ
(TV)



中小型ディスプレイ
(スマホ・タブレット・
ノートPC)



カメラ
モジュール

ほぼ全てのフラット パネル ディスプレイで使われるデファクト・スタンダードの接合材料です。熱硬化性の樹脂に導電粒子を分散させた導電性の接着フィルムで、ドライバーICやセンサーモジュールと、基板を導電接続します

表面実装型ヒューズ



リチウムイオンバッテリー搭載の電子機器を安全に使用するための二次保護回路ヒューズです。リチウムイオンバッテリーの「過電流」と「過充電」時にヒューズエレメントを溶断することで電池の安全性を向上させます

当社製品×最終製品

異方性導電膜（ACF）



光学弾性樹脂（SVR）



精密接合用樹脂



反射防止フィルム（ARF）



自動車ディスプレイ



ディスプレイの電子化や画面の大型化・高精細化により、高い反射防止機能と防汚性能を持つ当社の反射防止フィルム（ARF）の採用が進んでいます。その他にも、光学弾性樹脂（SVR）や異方性導電膜（ACF）なども自動車ディスプレイ向けに伸長しています

車載センサー

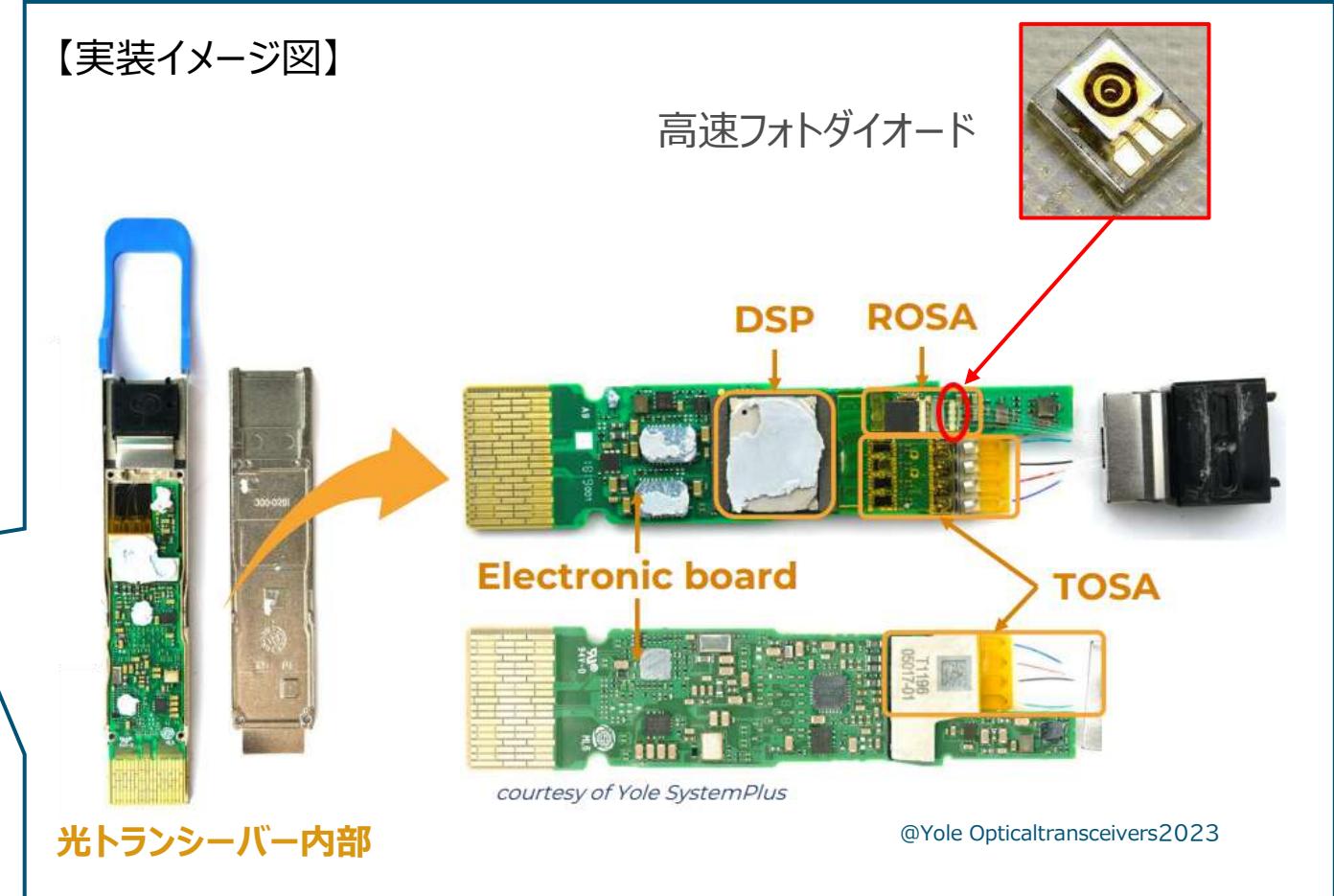


先進運転支援システム（ADAS）の進化に伴い、自動車一台当たりの車載センサーの搭載数が増加しており、センサーモジュール向けに当社の精密接合用樹脂の採用が進んでいます

当社製品×最終製品



電気を光に、光を電気に変換する半導体素子を総称して「光半導体」と呼び、これらが組み込まれた電子部品が光半導体デバイスです。各種データセンター向け光トランシーバーなどに当社製品が採用されています



@Yole Opticaltransceivers2023

ニッチ市場で高いマーケットシェア

主力製品はニッチな市場で世界シェアNo.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜
(ACF)

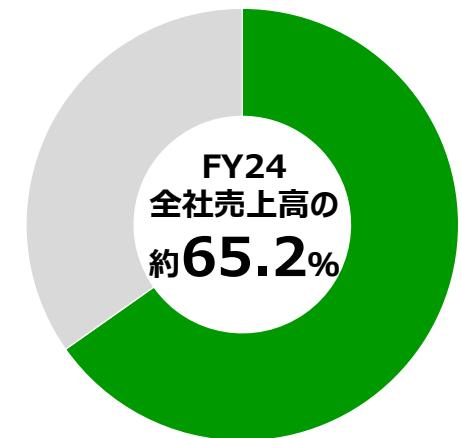


反射防止フィルム
(ARF)



光学弾性樹脂
(SVR)

主力 3 製品の売上高



海外売上高比率 (FY24)

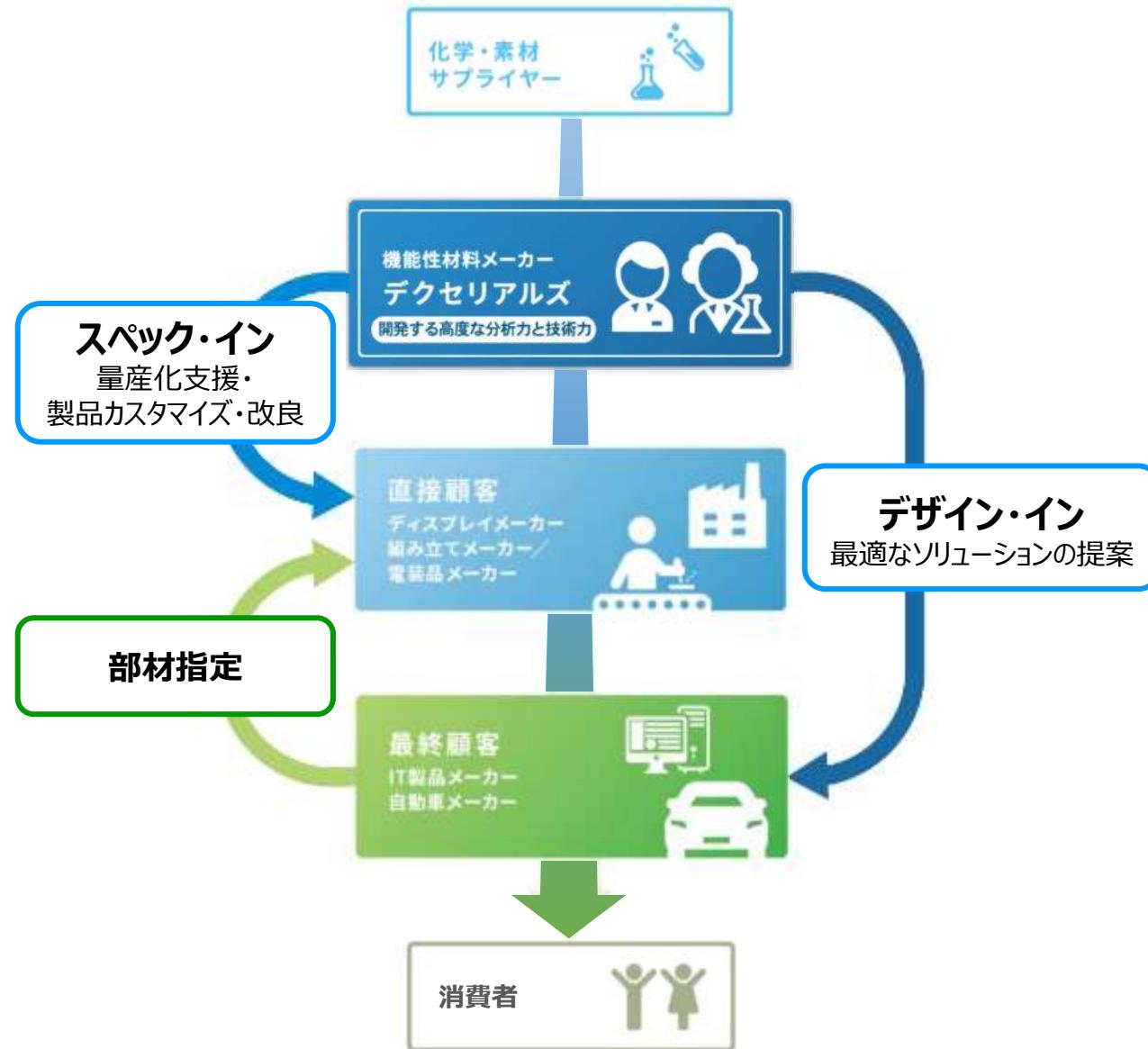
約66.6%

*1: 株式会社富士キメラ総研発行「2025ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2024年の金額シェア。

*2: 株式会社富士キメラ総研発行「2025ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2024年の金額シェア。

*3: 株式会社富士キメラ総研発行「2025ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2024年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

当社のビジネスモデル －シングルソース製品の創出－



当社独自のアプローチ：デザイン・イン

市場に近い最終顧客に直接アプローチし、
未来の技術動向に対する顧客のインサイトをもとに
最適なソリューションを開発・提案

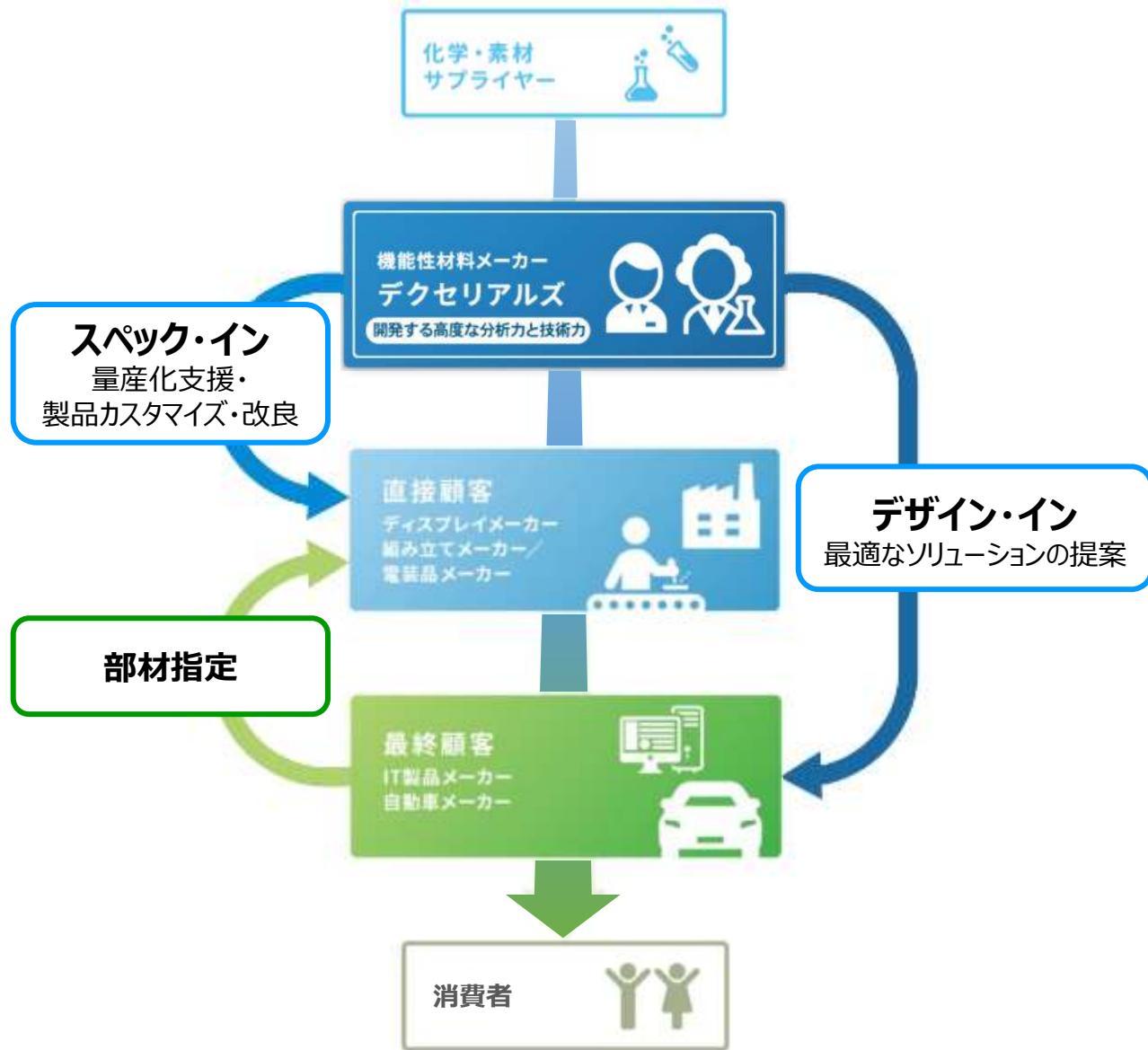
シングルソース製品として部材指定

シングルソース製品の拡大

新たな市場を創出し、技術力・特許取得による高い
参入障壁を構築することで、強い価格決定力を維持

ニッチな市場で高いシェアと
高い収益性を維持

当社のビジネスモデル – 新規領域にも展開、持続的成長へ

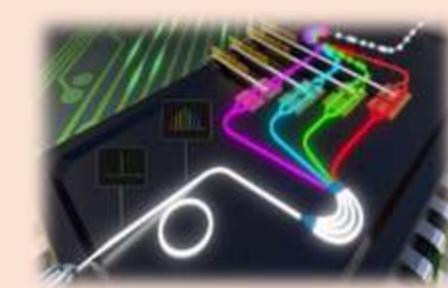


ビジネスモデルが生み出すソリューション

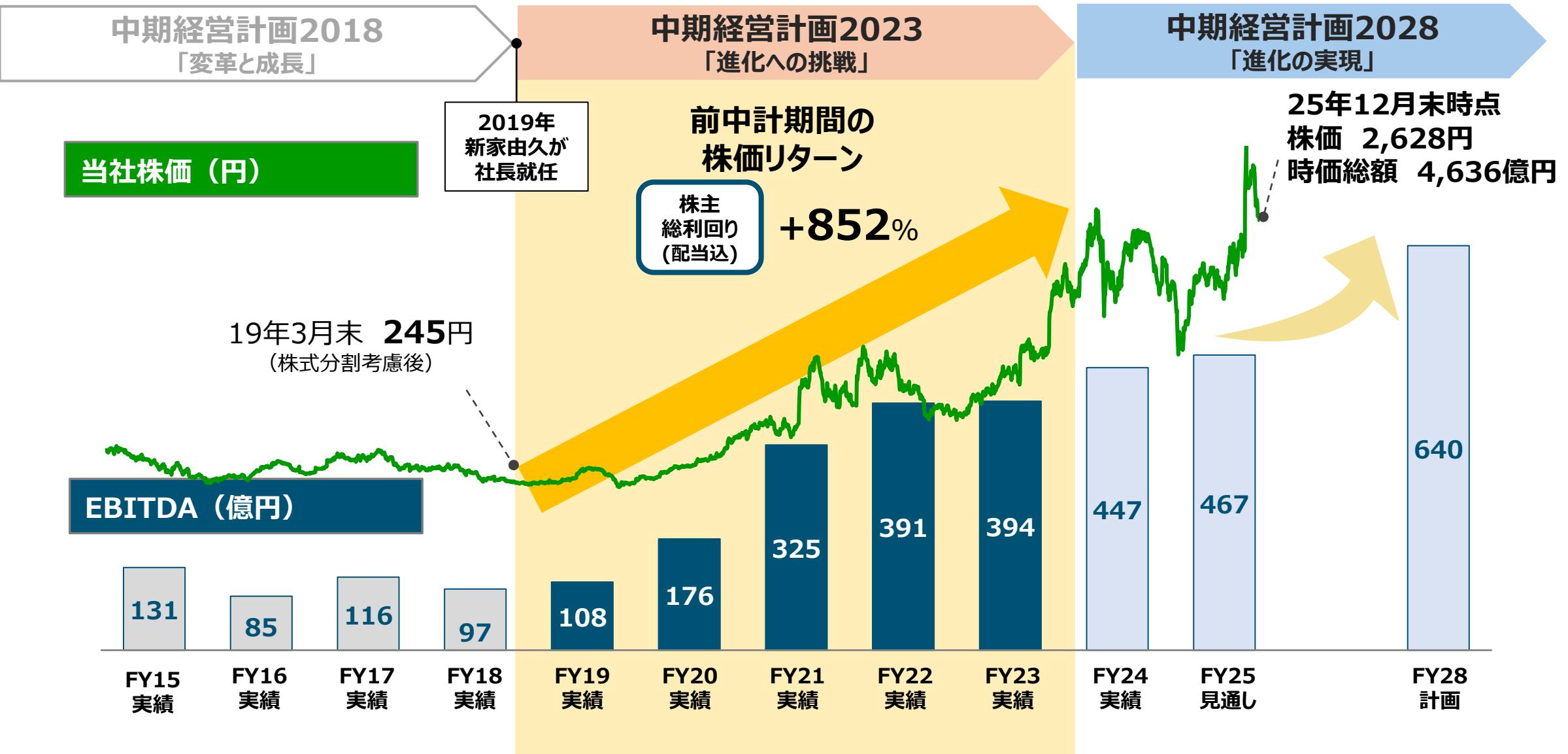
- 社会の効率を実現する技術の進化に不可欠
- 経済価値と社会価値を創出し、サステナブルな成長が可能に

ビジネスモデルを新規領域へ展開し、持続的な成長を達成していく

- 今後社会課題の解決に必要な技術の進化が求められる自動車やフォトニクスの領域へ、当社のビジネスモデルを展開



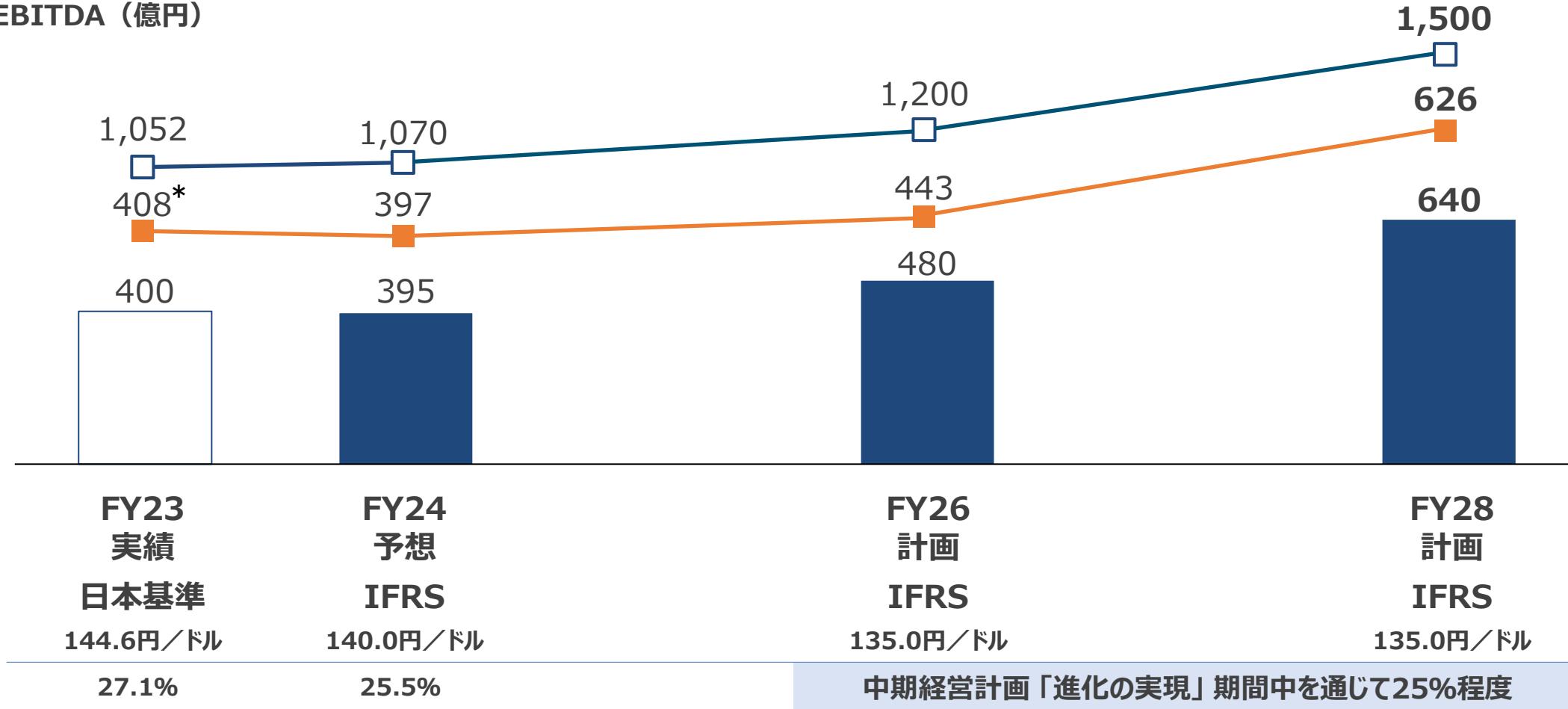
株価とEBITDAの推移



- 売上高（億円）
- EPS（円、株式分割前）
- EBITDA（億円）

位置づけ

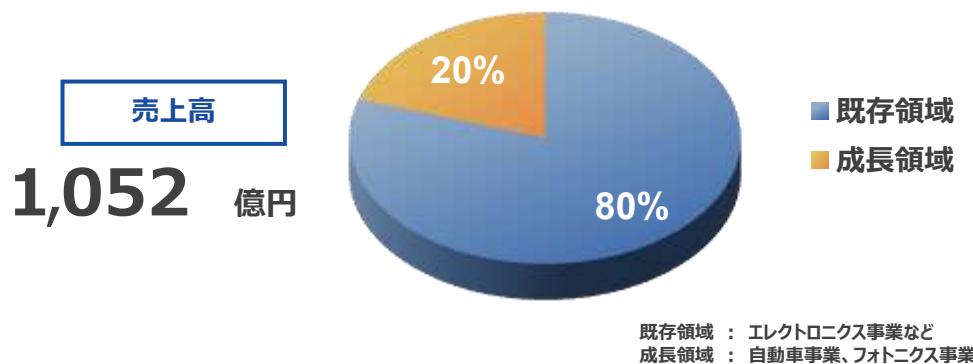
成長投資と株主還元の両立により
持続的成長と企業価値向上を実現する



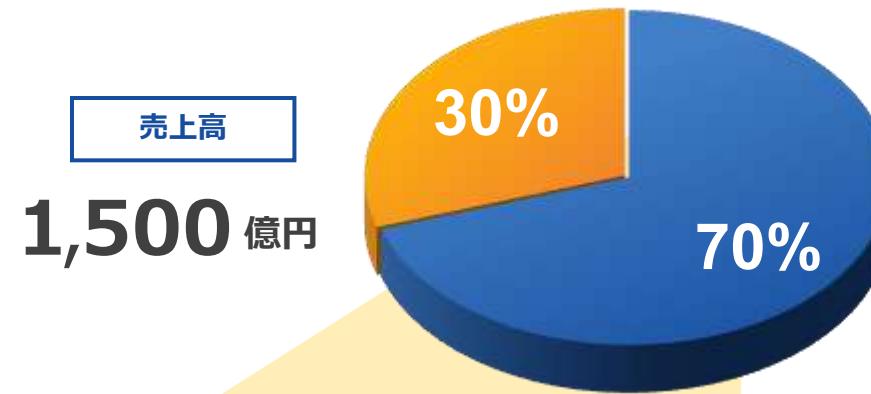
中期経営計画2028「進化の実現」における事業成長

2024年5月 中期経営計画2028 資料

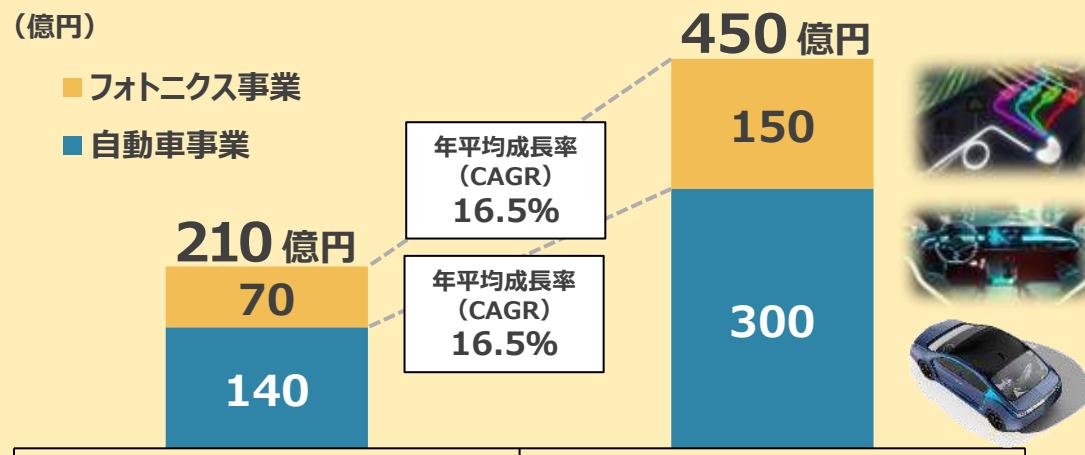
2023年度（実績）



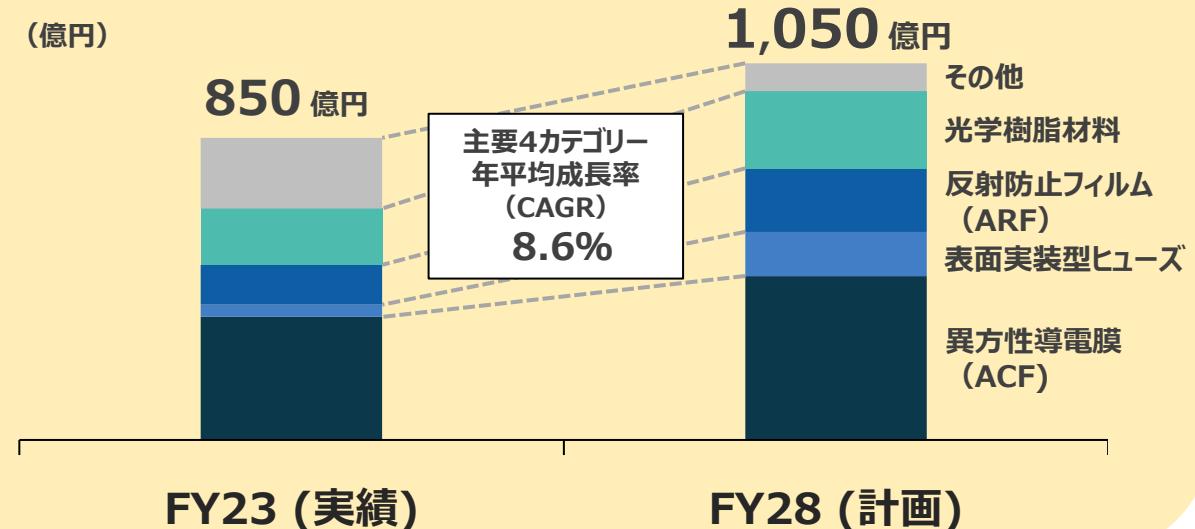
2028年度（計画）



成長領域 事業規模（売上高）



既存領域 事業規模（売上高）



最適資本構成を踏まえた成長投資と株主還元の両立

中期経営計画期間 5年間累計（億円）



- 非財務投資
 - 本計画達成に向けた投資
 - 持続的成長に向けた投資
 - 株主還元
 - 財務戦略
- マテリアリティである「人・技術」への投資
 - 前中計の「約3倍」の投資を計画
 - ROIC目標 14%程度
 - 蓋然性が高まった際の「追加投資枠」を確保
 - 投資機会がない場合は追加還元を検討
 - 総還元性向「60%」を目指す（5年間累計）
 - 配当性向 40%を目指して、DOE7%下限とする方針
 - Net D/E:0.45x、自己資本比率:50%を目指す（FY28）

先進的なコーポレート・ガバナンス体制

- ✓ 2019年～
 - ・ 指名・報酬委員会の設置
- ✓ 2021年～
 - ・ 監査等委員会設置会社へ移行
 - ・ 取締役報酬の評価基準にTSRを採用
- ✓ 2024年～
 - ・ 株式報酬制度に譲渡制限付株式を活用
 - ・ 代表取締役の報酬構成の見直し



2012年ソニーから独立。2015年上場



Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

